

特選

小中学生の部

説田 祐子 選

入学式自分の階段第一歩

加茂郡川辺町 山岡 恒心（中二）

作者は中学一年生。この春の入学式が行われる時には、二年生に進級することになるわけですね。そのことを「自分の階段第一歩」と捉えていることがすばらしいです。二年生になつても困ったことがあつても、自分の考えをもち、行動していくことでしょう。楽しく、応援したくなる俳句です。

「ありがとう」桜に残し中学生

大垣市 月森 亨介（中二）

作者は小学六年生。四月には中学一年生になるわけですね。卒業を前に六年間学んだ小学校の校庭でしようか。それとも、お家とか、通学路などに、桜が咲き始めようとしているのであります。六年間桜を眺め、学んできた気持ちがよく伝わる俳句です。中学生になられても小学生にまけない思い出ができることができました。

若草が太陽求めてのびをする

加茂郡川辺町 渡辺 かずは（中二）

三月の声を聞き、野原の草や木々たちも少しづつ、少しづつ芽を出し始めますね。その様子を若草の気持ちになつて、「太陽を求めてのびをする」とまとめていいるところがいいですね。春になれば暖かくなつて草木は伸びてくる。多くの人がそのように思うことを自然の営みとして、きちんととらえられていることがすばらしいと思います。これからもこのような気持ちで自然を見ていいきたいですね。

秀逸

たんぽぽの綿毛に想いのせて吹く

加茂郡川辺町 伊藤 桃佳（中二）

冬の朝つめたい風がすきとおる

大垣市 井川 奏（小六）

新しい体育かんに春の風

大垣市 井上 しゅんたろう（小三）

しんがつき五年生へのかいだんだ

大垣市 ほり みづき（小五）

さくらの花みんなあつまりなかよしね

須網 漣（小三）

笑い声凧と一緒に飛んでいく

小田 憲（中二）

こだわりの赤い実つけてゆきうさぎ

大垣市 日比 麻鈴（小六）

ぶらんこでいつしゅんみえるはるのやま

幸谷 葵（小六）

草むらで土筆と土筆が背くらべだ

浅野 夏実（中二）

つくしんぼあつちこつちでせくらべだ

大垣市 こんなりく（小四）

## 入選

大根が今が時期だぞよんでいる  
粉雪やねむる木々たち着かざつて  
妹といきをそろえておには外  
たんぽぽのわたげとんでくたびにでた  
雪達磨にわにぽつんとつたつて  
ゆきうさぎいまにもたかくとびそそうだ  
花吹雪桜のじゅうたんできちやつた  
残る雪おいてけばりだよ急いでね  
冬の山似合つたぼうしかぶつてる  
冬の朝こたつの中でだんごむし  
ゆきだるま次の日の朝バケツだけ  
ひなまつり男の子もうれしそう  
大雪でなかまたさん雪だるま  
マスクやけみんな同じで大笑い  
るるるるるうたをうたつて冬休み  
桜まう校舎に色がつきました  
春の空見上げて笑顔新学期  
おひな様私もそこにすわりたい  
ひらひらと蝶が笑つてにげてゆく  
もぐもぐとうさぎよろこぶ春キャベツ

## 小中学生の部

大垣市	野原 柑南（小六）
大垣市	伊藤 百花（小六）
大垣市	安井 柚葉（中二）
大垣市	日比 桃鈴（小六）
大垣市	白石 風（中二）
大垣市	和田 愛菜（小四）
大垣市	神谷 凜（小四）
大垣市	吉田 琢人（小五）
大垣市	高木 優志（小六）
大垣市	柏崎 瑞斗（小六）
大垣市	豊永 直斗（小六）
大垣市	やす田 こう太ろう（小三）
大垣市	つちや なおき（小三）
大垣市	鹿野 由衣（小六）
大垣市	よしうら あいか（小四）
加茂郡川辺町	各務 希々花（中二）
大垣市	伊藤 奏奈（中一）
大垣市	長谷 光央里（小六）
大垣市	河添 肇也（小六）
大垣市	原 志織（小六）

## 選者吟

手つなぎし登校支援手のぬくし

祐子

